

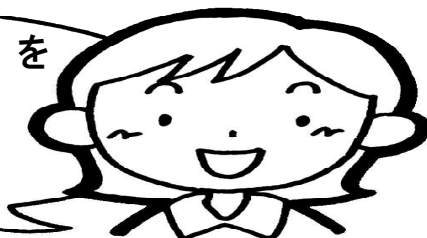
「ほっとルーム」だより



第136号 平令和元年12月2日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 Tel 21-5130)

羽島保育園で、出前サロン「おあしす」を
開設しました。

12月に、**串木野小・旭小・照島小**で
「おあしす」を開設します。



10月29日(火)に羽島保育園で、「おあしす」
を開設しました。お迎えにいらっしゃったお母さん
がお立ち寄りくださって、子どもさんへの接し方や
お母さんの頑張り等、お茶を飲みながら語りました。

12月に串木野小学校、旭小学校・幼稚園、照島小
学校で、1月に市来小学校で「おあしす」を開設し
ます。多くの保護者の皆様のお越しをお待ちしてお
ります。



羽島保育園「おあしす」

串木野小学校

○ **12月4日(水)**

(午後2時～4時)

○ 視聴覚室

旭幼・旭小学校

○ **12月5日(木)**

(午後2時20分～4時)

○ 家庭科室

照島小学校

○ **12月6日(金)**

(午後1時30分～4時)

○ PTA会議室

市来小学校

○ **1月24日(金)**

(午後2時30分～4時)

○ 家庭科室

親子でできる家庭の体操!

～冠岳小学校家庭教育学級～

冠岳小学校家庭教育学級は、10月12日
(土)に、講師に小島みゆき先生をお招きして「疲
れた体を癒やそう!親子でストレッチ」という
テーマで、親子で学びました。

コンディショニングで、体幹トレーニングを
しました。片足立ちでバランスをとったり、親
子で向き合ったり、背中合わせになったりして
開脚運動等もしました。「できる、できないでなく、やってみよう」という先
生の声かけに、親子で触れあいながら、楽しく汗を流しました。



学級生の声

➡ 夫婦で楽しみながら参加しました。

➡ 子どもたちも和気あいあいと楽しそうでした。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、
ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム: 教育委員会 社会教育課内

TEL: 21-5130 FAX: 36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24

TEL: 0120-783-574 (携帯電話はつながりません)

TEL: 099-294-2200



家庭教育について提言をいただきました。

三井串木野鉱山株式会社 代表取締役社長 今 裕之

いちき串木野市には、「おはよう」「こんにちは」と挨拶をしてくれる子どもたちがなんと多いのでしょうか。これは、家庭を中心とした様々な教育の場で、先輩や年上の方を尊重する気持ちをしっかり身に付けているからだと思っています。この気持ちは、仕事のうえでも非常に大切なものだと考えます。



当社では、先輩から継承すべき技術が多々あります。我々もこの尊重する気持ちを持って、上手に継承していかなければならないと深く感じています。

私には、来年就職する娘が一人います。娘に、この尊重する気持ちをどれだけ教えることができたのか多少不安を感じています。どうか就職先で、諸先輩方から可愛がられる新人になって 欲しいと願うばかりです。

いつも心に音楽を！ ～ 照島小学校家庭教育学級 ～

照島小学校家庭教育学級「空組」は、11月5日(火)長女さんが小学校2年生まで、照島小学校の保護者であった上白石孝子さんを講師にお招きし「いつも心に音楽を」という講演をお聞きしました。

娘の萌音さん、萌歌さんが出演している映画「羊と鋼の森」で2人が連弾をする場面を観ながら、今は元気にやっているが、台詞覚えに寝る時間が無く、1回だけ「やめたい」と言った事等を話されました。

中学校の音楽の先生をやめて、ピアノ教室をされている上白石さんは、「赤トンボ」の歌の内容や和音の話をされたり、黒鍵だけの曲づくりをしてみせたりされました。また、学校の音楽の時間だけでなく、身近にある大小のトライアングルや卵形のマラカス、鍵盤ハーモニカなどでの自由な音出しに、型にはまらない音楽の楽しさがあることを話されました。「子どもたちもきっと音に食いついてくるはず」とのお話に、参加者はうなずいていらっしやいました。



参加者の声 ➡ ○講演を聞いて、音楽がもっと好きになりました。ピアノが弾けなくても、黒鍵だけで音楽が奏でられるのに感動。家で子どもたちともやってみたいと思います。

「花さき山」によるお話し会

～ 串木野小学校 ～

11月11日・15日、串木野小学校では、読書週間にちなんで、読み聞かせグループ「花さき山」によるお話し会がありました。

11日の3校時は、5年生を対象にしたお話し会でした。絵本の読み聞かせ「わたし」「そらいろ男爵」、ブラックシアター「くもの糸」に続き、劇「海山合戦」では、担任の先生の出演に、子ども達は大喜び。最後に「3びきの子ぶた」の人形劇がありました。子どもたちは、本の世界に浸っていました。



担任の先生も出演された劇「海山合戦」

会員の声 ➡ ○子どもたちの反応や笑い声、笑顔が一番。「おもしろかった」と返ってくるのが、嬉しいです。また、仲間が集まると元気がでます。
○ 電子黒板の実習を受けて、新しいやり方を学習しました。